

(教養課程)

演 題

「良好な関係性を構築する医療接遇と心の整え方」

抄 録

歯科技工士として長く働き続けるためには、技術だけでなく「人と関わる力」や「自分自身を整える力」も重要です。本講演では、医療現場で信頼されるプロフェSSIONALになるための、**医療接遇と心の整え方**を中心に、実践的なヒントをお届けします。

さらに、現代の社会人に求められる力として注目されている「**社会人基礎力**」——「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」も紐づけて紹介します。これらは、職場や人間関係の中で信頼され、自律的に動くための土台であり、**選択理論心理学**の考え方とも深くつながっています。

講演では、**選択理論心理学**をベースに、ストレスと上手に向き合いながら心の安定を保つ方法を学び、日常の医療接遇にどう活かすかを考察します。単なる「礼儀やマナー」ではなく、相手の立場に立ち、信頼関係を築くための接遇力を身につける内容です。

これからの時代を担う歯科技工士として、「人間力」と「対人力」を磨く学びの場にしていただければ幸いです。

主な内容：

- 医療人としての基本：心の整え方と接遇の本質
- 選択理論心理学で学ぶストレスとの付き合い方
- 社会人基礎力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）を高める
- 自分と他者を理解し、良好な関係性を築くためのヒント
- 現場で使えるコミュニケーションとマインドセットの実践

(専門課程)

演 題

「良好な人間関係を構築し、成果を創り出すタイムマネジメント」

抄 録

歯科医療の現場では今、チームで成果を出すことが求められる時代です。歯科技工士は直接患者と関わる機会は少ないものの、歯科医師・歯科衛生士・受付・事務スタッフなど、多職種と連携しながら一人ひとりの患者に最適な医療を提供する重要な役割を担っています。

本講演では、歯科技工士がチームの中でより良い人間関係を築き、限られた時間の中でも質の高い技術を作り出すためのタイムマネジメントとチームマネジメントの考え方をお伝えします。

まず、時間の使い方に優先順位をつけるプライオリティマネジメントや、少ないリソースで最大の成果を生み出すパレートの法則（80：20の法則）を活用し、自分の時間を戦略的に設計する力を高めます。そして、目標達成の構造を体系的に理解し、個人とチームの成果がリンクするための行動設計について学びます。

また、チームでの信頼関係構築の基盤として、選択理論心理学を活用し、相互理解や協力を生むコミュニケーション、リーダーシップの在り方にも触れます。職種の違いを越えて連携を強めるには、まず自らの思考と行動を整えることがスタートです。

本講演は、歯科技工士が“チーム医療”の一員として、信頼と成果を両立させる力を養うことを目的とした内容となっています。

主な内容：

- タイムマネジメントとプライオリティの見直し方
- パレートの法則で効率を最大化する
- 選択理論を活かしたチーム内の人間関係構築